

各 位

上場会社名	株式会社 研創
代表者	代表取締役社長 林 良一
(コード番号	7939)
問合せ先責任者	執行役員総務部長 浦上 忠久
(TEL	082-840-1000)

平成25年3月期第2四半期累計期間における業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年5月15日に公表した平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。
また、最近の業績動向を踏まえ、平成25年3月期通期の業績予想につきましても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,502	△60	△81	△84	△21.02
今回修正予想(B)	1,849	70	48	38	9.58
増減額(B-A)	347	130	129	122	
増減率(%)	23.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,390	△82	△111	△141	△35.51

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,650	168	126	72	18.02
今回修正予想(B)	4,020	264	220	136	34.03
増減額(B-A)	370	96	94	64	
増減率(%)	10.1	57.1	74.6	88.9	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	3,345	165	110	92	23.23

修正の理由

当第2四半期累計期間における日本経済は、復興需要等を背景として緩やかながらも景気に回復傾向が見られましたが、長期化する円高や欧州の景気後退に加え、中国の景況感悪化などといった海外経済の弱い動きから輸出や鉱工業生産が停滞し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況ではありましたが、当社におきましては、統制のとれた効率的営業活動を実現するため平成21年11月に断行した営業体制改革の効果が、実施3年目の当第2四半期累計期間において顕著に現れたことから、受注は大幅に増加しました。この改革は、各営業拠点の大多数の営業員を広島本社に異動させ、分散していた営業機能を本社に集約するとともに、本社営業員は拠点の営業員と連携して見積・見積追跡・営業活動・生産手配を行う体制としたものであります。受注は、特に発光効率の向上と大量生産による低価格化のため広く社会に普及してきたLEDを組み込んだサイン製品群において増加しており、結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期比33.0%増となりました。

損益面においても、大幅な増収に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回の予想を大きく上回りました。

さらに、第3四半期以降においても順調な推移が予想されることから、通期予想における売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても修正いたします。

以 上